

The service club to the YMCA



THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町
5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0798)35-5987

HP QR コード



" TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2026年 6月会報 第450号

主 題 ・ 標 語

国際会長(IP) Edward Ong (シンガポール)

主 題 信念、愛、行動 Faith, Love, Action

標 語 共に、より強く Together Stronger

アジア太平洋地域会長(AAP) 田上 正(熊本むさし)

主 題 信念と愛を持って行動しよう

Act now with faith and Love!

標 語 YMCA,ユースと共に地域社会に貢献しよう

Contribute to local society together with YMCA and Youth!

西日本区理事(RD) 中井信一(奈良)

主 題 世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends
all over the world!!

標 語 あなたに寄り添う。あなたを忘れない。

Stay with you. Never forget you.

六甲部長(DG) 柳 敏晴(神戸西)

主 題 温故知新 Visiting Old, Learning New!

標 語 六甲部にウエルビーイング!

We Rokkou-bu aims for wellbeing!

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 地域で見つかる!繋がる!ワイズ活動!

西日本区 6月強調テーマ:評価と引継ぎ

1年間を振り返り、その経験値を次年度に活かしましょう!

ヒストリアン 遠藤痛寛(大阪泉北)

皆様のクラブにとってのこの1年は、笑顔の多い活動・例会
が出来ましたか? できなかったことを反省し、次年度に向
けての活動を話し合しましょう。 理事 中井信一

2025~2026 役 員	会長:多胡葉子 副会長:福田宏子 書記:若林成幸 会計:小林康男 監査:長尾 亘・風早寿郎 担当主事:橋本 唯 メネット連絡:小林貴美子 直前会長:長尾 亘
事業委員長	Yサ:武田寿子 CS 環境:金岡幸宏 EMC:福田宏子 国際・交流:岡野泰和 広報・ブレン:若林成幸
特別事業 委員長	TIFA/NGO:小林康男 ファンド:郡家 学・多胡葉子 市民クリスマス:若林成幸
国際・交流主査	石田由美子

2026年 6月例会

日 時: 2026年6月10日(水)18時30分

場 所: 宝塚市西公民館ホール

会 費: 1,500 円

ドライバー: 金岡幸宏・若林成幸

開会点鐘 会長 多胡葉子

ワイズソング 「いざ立て」

聖書・祈祷 石田由美子

ゲスト・ビジター紹介 会長 多胡葉子

会 食

卓 話 「中学校の部活動の消滅と地域移行の現状」

宝塚市立南ひばりガ丘中学校 矢藤 学 先生

2025年度活動の評価

委員会報告

YMCA報告 担当主事 橋本 唯

誕生日のお祝い 会長 多胡葉子

ニコニコ・ファン

閉会点鐘 会長 多胡葉子

6月誕生日	1 長尾ひろみ 3 若林成幸 5 青柳美知子 16 矢部美沙 17 小林貴美子 25 郡家敏子
5月例会実績	会員在籍数(A) 17名 例会出席総数(B) 19名 (内訳) 会員(C) 12名(内ズー(名) メネット・アソシエト 4名(内ズーム1名) ゲスト・ビジター 3名(内ズーム0名) メイクアップ(内数D) 0名 会員出席率 C+D/A 70.6% 例会充足率 B/A 111.8%
5月実績 ここに ファン	ニコニコ 6,500円 (累計 51,000円) ファン タカラムネ 0円 (累計 39,500円) 真菰茶 5,250円 (累計 22,735円) その他 10,000円 (累計 11,800円) 合 計 15,250円 (累計 74,035円)

今月の聖句

「風は思いのままに吹く。」(ヨハネによる福音書 3:8)

随想

以前に仕えていた教会で、一人の青年からこんな話を聞いたことがある。

彼は高校時代に大きな病を患い、長期の入院生活を余儀なくされた。周りの者が高校生活を謳歌するのを尻目に、まるで自分だけが取り残されたかのようで、次第に焦りが募っていく。いよいよ手術を控えた時、たまらなくなった彼は、意を決してある俳優に手紙を書いたという。それは現在、世界的にも大活躍する俳優だが、かつて大きな病を克服したことでも知られている。「あの人なら、ぼくの気持ちをわかってくれるだろう」と。

しばらくの間返事は来ない。しかし(そこがニクいところだが…)手術の前日になって、一言のメッセージが添えられたサイン色紙が届く。自筆のサインの横には、こんな言葉が添えられていたという。

「直輝君へ 風車(かざぐるま) 風が吹くまで昼寝かな。 渡辺謙」

色紙を見ながら、彼は思ったのだという。「そうか、今は僕にとって、昼寝の時なのか。風が吹くまで、待てばいいのか」と。不思議と積み積みもった焦りも消え、心が落ち着いていく。渡辺謙さんのメッセージもさることながら、彼の受け取り方・感性もまた、素晴らしいと思う。

そして、本当に「風は吹いた」のである。

その後、京都にある大学の神学部に入學した彼は、そこで一人の大学教授と出会い、人生観を変えられる大きな影響を受ける。さらにエジプト留学などを経て研鑽を積んだ彼は、今や「新進気鋭のイスラーム学者」として、トルコのイスタンブールで大学の教員をしているのである。

そんな彼の消息を追いながら思う。あの時、病床で「風」を待っていた10代の青年は、その後、自分の人生に吹きぬける「風」に運ばれ、行くべき場所へと辿り着いていった。人の歩みの中には、きっと「風を待つ時」/「風に運ばれる時」があるのだろう。

私たちは今、聖霊降臨節の日々を歩んでいる。6月はまた、旧暦で「風待月」と呼ばれてもいる。一人ひとりの人生を祝福する「聖霊(風)」の力に身をゆだねつつ、人生の旅を続けていきたい。

甲東教会牧師 新堀真之

**ゲストスピーカー 矢藤 学 氏**

宝塚市立南ひばりガ丘中学校・理科教諭

同校吹奏楽部顧問として生徒達をコンサート活動やコンクールにて数々の入賞に導く等の指導をされています。

市立中学校のクラブ活動閉鎖に伴い、南ひばりガ丘中学校吹奏楽部の地域展開登録クラブとして、2025年に吹奏楽団「南ひばりガ丘ウインドシンフォニー」を設立し、5月30日(土)に東公民館にて第1回アフタヌーンコンサートを満員のお客様を集め開催された。

5月例会報告

5月第1例会報告

5月13日(水)夜、5月第1例会を宝塚市西公民館ホールにて開催した。出席者は、会員12名、メネット・アソシエイト4名(内 Zoom 参加1名)、ゲスト・ビジター3名 計 19 名。はじめに多胡会長による開会点鐘・ワイズソング斉唱・平和の祈りが行われ、食事の後、元理事 鶴丹谷 剛ワイズと次期ユース事業主任 上杉 徹ワイズから「YMCA サービス事業とユース事業のこれから」と題してお話を聞き、ユース事業の新たな進め方に関して考えるひとときを与えられた。

●**鶴丹谷ワイズの話**：西日本区役員会は、「YMCA サービス事業の一冠として位置づけられている若者のワイズ活動へ参画の取組みは、「将来のワイズダム発展」という課題を解決するための一方策として「より多くの若者を巻き込んだクラブ活動の推進」という観点に立ち、将来のワイズメン候補になり得るユースのフォローアップができるプラットフォームを構築することの重要性を共有した。IYS(国際ユースコンボケーション)や AYC(アジアユースコンボケーション)に参加したユースの報告からもユース活動支援の重要性を認め、2026 年度から YMCA サービス事業とユース事業を分離して事業活動を行うこととなった。

●次期西日本区ユース事業主任 上杉ワイズの話 (AI による要約)

出会いが人生を変える

出身は大坂・天満、桃山学院大学で社会福祉を学ぶ。学生時代、国際ワークキャンプ(バリ島)参加が転機となりYMCA への関心を高める。37年前に YMCA に入所。西神戸 YMCA で学童保育・キャンプ・野外活動・体操教室を担当し、リーダー育成の基礎を得る。その後、YMCA 予備校で進路指導、通信制高校での不登校支援。そして神戸真生塾にて施設長・理事長を務める。神戸西クラブに2008年から参加。

「明日の指導者は今日つくれる」

・活動方針として、リーダーの育成と最も困難な人たちへの手助けを考える。
・ユースとは、学生 YMCA、ユースリーダーOB/OG、留学生等。35才まで。
・YMCA の活動(キャンプ、リーダー体験、社会参加)は自己肯定感や Well-being に取り組む姿勢を育ててくれる。

これまで活動体験から得たもの

バリ島ワークキャンプ…国際的な出会いが人生の転機になった
児童養護施設での職業体験…進路の探求・自己決断力の向上。実際に進学や資格取得につながることを実感。
ユニクロ寄贈品販売…自己決断の学びと現場での役割経験を認識。
老人ホームの子供カフェ…世代間交流で感謝体験・自己肯定感 up を学ぶ。
落書き消し活動…地域貢献・心の浄化作用を実感。

ユースとワイズがともに活動する意義

～化学反応を楽しもう～

1. 出会いによる「ケミストリー」が個人の人生や進路を変える。
2. 大人(ワイズ)は価値観の違いにこだわらず、本人の選択を尊重する支援者になること。
3. Z 世代は: 社会課題への関心は高く、時間対効果(タイパ)を重視する特性をもつ。ワイズはかかわり方を工夫する必要がある。

ユース事業の進行プロジェクトと具体的な提案

- ・ワイズ SDGsユースアクション 2026
- ・IYC/AYCへの参加支援
- ・地域共同活動の推進



【感想】六甲部は、2024-25 年鶴丹谷理事期の大半を西日本区大会の運営案件に勢力を集中していたこともあって、理事はじめ区役員会が企図する変革の動きをつかみきれなかった。六甲部の精神的支柱でもある神戸 YMCA が病み、六甲部も会員の減少や高齢化が進み打開策が見えない現実を前にユース世代の育成は喫緊の課題。「ユース事業の再構築」論は積極的に関わらなければならないと思うようになった。New Leader の働きに期待したい。

若林成幸

5月第2例会 議事要旨

日 時 5月21日(水)午後6時30分～8時30分

場 所 宝塚市立西公民館会議室

出 席 多胡会長、石田、岡野、金岡、小林、郡家、武田、福田、若林、計 9名

議事要旨

1) 6月例会に関して

- ・ 日時 6月10日(水)18時30分～20時30分
- ・ 場所 宝塚市立西公民館ホール
- ・ ①卓話 南ひばりガ丘中学校教諭 矢藤 学 先生
「中学校の部活動の消滅と地域移行の現状」
- ・ ②1年間の活動の振り返り(各事業委員長による報告と協議)と次年度への課題の共有

2) 7月例会に関して

- ・ 7月8日(水)18時30分から、西公民館ホール
- ・ 役員交代式・六甲部部長公式訪問?・入会式?
- ・ 定期総会(会長及び各事業委員長の方針・計画発表、決算及び予算承認等)

3) 六甲部関係の行事など

- ・ 5月30日(土)午後2時～ 於 神戸 YMCA 準備役員会(引き継ぎ会) 出席 福田・石田・多胡
- ・ 7月4日(土)18時～19時、神戸青少年科学館ドームシアターで開催予定の神戸クラブ主催のイベント「いのちを感じよう」(関西万博催事プログラム+神戸 Yくさぶえ合唱団、石田ワイズのフラ出演)
- ・ 2026年度第1回評議会 日程等 不詳

4) 西日本区大会に関して

前夜祭: 6月12日(金) 場所 KOTOWA 奈良公園
大会: 6月13日(土) 場所 なら100年会館・ホテル日航奈良
参加者: 多胡・福田・石田・青柳・金岡・長尾 6名

5) 部、クラブなどの行事案内

- ・ 岡山クラブ 60周年 5/23 参加者 石田、長尾、多胡
- ・ 東京町田コスモスクラブ 30周年 6/27 参加者 石田・青柳・真藤・多胡

6) 2028年に40周年を迎えるにあたっての協議

準備委員会を設けたたき台を作ってもら。委員として岡野・金岡・安行各ワイズにお願いする。

7) 6月号 ブリテン

例会報告(若林)、聖書随想(新堀牧師)、神戸 Y 創立記念日礼拝(武田)、大阪なかのしまクラブコンサート(福田)、YMCA 報告(橋本)、オオキンケイギク駆除大作戦(金岡)、YMI(岡野)、誕生日一言(若林・青柳・小林貴・矢部)。投稿期限5月28日(火)

8) 会計中間報告と期末までの支出予定

- ・ 会計から提出の中間収支報告(5/15 現在)をもとに未実施事項を確認・了承した。
- ・ 例会運営費…ブリテン執筆謝礼(新堀・浦上牧師)@1万円、
- ・ クラブ運営費…宝塚クラブ取り扱い規定第3項に基づく諸行事参加補助金(交通費・宿泊費・登録費)…該当者から6月第2例会までに会計へ申請⇒予算の範囲内で対応する
- ・ 交流事業費…東京町田クラブ周年祝い…1万円

9) チャリティーラン実行委員会報告

東京 YMCA の元職員による不祥事に関する新聞報道に対しナショナルスポンサーである三菱商事はスポンサー辞退を表明。このため今年度のイベントについては当面次の通り対応する。

- ・ YMCA 同盟からはイベント中止の連絡はないものの、チラシ配布とスポンサー広報は保留し、同盟からの指示を待つ。
- ・ 神戸 YMCA は、2026年11月22日にしあわせの村で開催予定のまま準備を継続する。

(次頁へ続く)

10)その他

5月例会での「ユース事業」に関連し、宝塚クラブでも地域のユース支援や交流アクションを起こすことを共有。6月例会での卓話者の要望への対応、関学(聖和)の学Yとの交流の可能性から始めることとした。

以上(若林)

神戸 YMCA 創立140周年記念日礼拝 武田寿子ワイズのお話(全文)

神戸 YMCA の創立記念日礼拝で YMCA やワイズとの関わりについての話をと依頼を受けたとき、もっとワイズの活動に献身的にかかわっている方々がたくさんいらっしゃるのにお断りしようと思いました。若き日に YMCA から多くの賜物をいただき、育てられたという思いがあり、特に私たち夫婦の人生を豊かにくださった余島キャンププログラムが終了するという節目であり、YMCA の生命線である若者を育てる役割が薄れているように感じられ、お話しさせていただくことにしました。

振り返ってみれば初めて神戸 YMCA を知ったのは高校一年生、当時中山手にあった YMCA 英語教室に学校帰りに行ったのが始まりです。神戸松陰に長田方面から市電で通っていたので、毎日のように中山手にあった YMCA の前を通過して通学していました。そのころ YMCA は若者がたくさん出入りしていて体育館では水泳、バスケット、バドミントンなど格好いい若者がいたのが魅力的だったのでしょう。英語教室は神戸女学院を出られた素敵な先生でしたが、急に結婚退職され、次に来たのが武田建、カナダへの留学をひかえて暇だったのでしょう。英語の授業よりも余島キャンプとかアメリカンフットボールの話が多かったのを覚えています。間もなく彼もカナダトロントに留学、次に来た先生は宮田満男さんでした。英語なら YMCA といわれていた割には、先生たちは余島キャンプのリーダーで、今考えると割といい加減な英語教室でした。私は、武田建先生の言葉にすっかり魅せられてキャンプリーターになりました。しかし、高校を出て英語専門学校に行くことになったのでリーダーをしたのは2年間、特に2年目のほとんどは余島ではなく神戸市北区山田に急遽開設された山のキャンプ場でした。キャンプ長は本間主事、後に NY YMCA のフロストバレーキャンプで大活躍された方で、経験少ない私たち学生を叱咤激励し、子供たちに楽しいキャンプを経験させると張り切っておられました。本当に何もない休耕田にパネルを引きテントを立て子供たちのキャンプを設営しました。

私は、おもに子供たちの食事を担当しましたがテント張りのかまどでの食事づくり、雨が降れば薪が湿ってなかなか火がつかず苦労しましたが、若かったのか、大変だとは思わず、キャンプファイアーや子供たちの歌声歓声に喜びを感じた夏でした。

あるとき、携帯電話などない時代、何の連絡もしない娘を心配した両親がキャンプサイトまで訪ねてきたことがありました。雨上がりの朝、朝食のわかめ入り味噌汁を食堂テントに運ぼうとし、ぬかるんだ道で滑って転んで熱い味噌汁が手にかかり、地元の病院に連れて行ってもらったときのことでした。両親は運悪く、私が病院で治療中に訪ねてきたのでした。65年ぐらい前の笑い話ですが、キャンプに参加の子供たちは結構多く、本当に楽しんでいました。しかし、このキャンプは1年で終わりました。余島があまりにも素晴らしいことがわかったからでしょう。



YMCA でもう一つ忘れられない経験は1959年9月26日紀伊半島から東海地方を中心に甚大な被害をもたらせた伊勢湾台風。行方不明者5000人を超す史上最悪の被害が出たとき、YMCAは災害支援の救援隊の派遣をすすめ、今井主事からスタッフや炊き出しの人手がいるから行ってくれないかと連絡があり、思わず行きますと返事をし、学校を休んで、名古屋 YMCA で災害救助活動に加わりました。

今でも目に浮かぶのは台風の被害が甚大で、私たちが行った時ですら水が引かず、ボートで二階から出入りしている住民の姿が多く見受けられ、家畜の死骸もあちこちに放置されていました。名古屋 YMCA の体育館で各地から来たスタッフやボランティアが集まり、救助活動をしたのが今でも忘れられない経験でした。その後、阪神大震災や東北での津波被害など YMCA は災害救助の中心となって大きな働きをしたと思いますが、原点には伊勢湾台風の経験があったのではないかと思いますし、その現場を体験させていただいたことは私の人生に大きな影響をもたらしたと思います。

その後、日本航空客室乗務員として国内、国際線で乗務し、いろいろあって6年半ぶりに母校関学の先生なるため帰ってきた武田建と結婚することになりました。これは YMCA で出会ったことがきっかけです。武田建は6年半ぶりに帰国後、最初に訪れた先は、余島。今井キャンプ長に会うためだったようです。余島の栈橋についた時は涙が止まらなかったと言っています。彼を社会福祉やグループワーク、臨床心理へと方向付けたのは若い日に YMCA でのグループ活動や余島 YMCA キャンプでのリーダーの経験があったからだといっていますし、今でも感謝しています。

私がワイズメンクラブを知ったのは、結婚したての頃、神戸ワイズメンクラブからスピーチを依頼されたときでした。60年以上も前のことです。当時神戸ワイズメンクラブの会員に関学の教授をされていた夫の上司でもある竹内愛二先生、また今井主事からの依頼でもあり、仕方なくお引き受けしました。どんな会合かもよく知りませんでしたし男性ばかりで、とても緊張しました。演題は快適な飛行機の乗り方だったと思います。当時、飛行機に乗れるのはごく一部の方々の特別な事情に限られていた時代です。事故が起こった時には、荷物など持たずとにかく乗務員の指示にしたがって飛行機から出るようにというような話をしたような記憶があります。

その後、子供たちが小さい頃は YMCA の水泳教室やサッカースクール、キャンプなどに参加させ、夏には家族キャンプに余島にいらっしゃいましたが、子供たちが大きくなり、大阪の専門学校で仕事を始めたので、YMCA とは疎遠になっていきました。しかし、ある時、総主事の山口徹さんから、YMCA の理事会に女性が一人もいないのは問題だからぜひ来てほしいと頼まれ、しぶしぶ承諾したことから再び YMCA とつながるようになりました。いつの間にか YMCA 同盟の国際担当委員にもなり、海外の会議にたびたび出席しました。アジア太平洋同盟の事務局が香港にあった時代、長尾ひろみさんがワイズ代表として活躍されており、大変強い味方でした。ただアジア太平洋のワイズ代表の方々は発言すると演説が長くて困ったものでしたが、YMCA の強力なサポーターであったことはよく理解できました。

さらにワイズメンクラブが YMCA にとっては強い味方でありと実感したのは神戸 YMCA の理事会で責任ある立場(理事長)になった時です。財政的に困難な状況下、神戸 YMCA の大きな転換期であり、ワイズメンズクラブのサポートを大変ありがたく思いました。しかし何かがあるといつもワイズにお願いしてみようという YMCA の在り方にも疑問を抱きました。



仕事を 75 歳で退職し、本格的にワイズメンクラブに入会させていただき今は YMCA の応援団という立場にいます。

時代が大きく変わり、人と人とのつながりが希薄化し、ゲームや AI が友人代わりという若者が増えてきています。時代遅れの老人にはそれでいいのかと疑問が残ります。若い YMCA のスタッフの方々に新しい発想で若者のためのプログラムや居場所つくりのためプログラムを実行していただきたいと思っています。

4 年前からは老老介護の状況になり時間的に制限され、ほとんど活動はできていないのですが、若いころ夫婦ともにキャンプリーダーとして神戸 YMCA で経験したことや YMCA を通じて出会った方々との交流は、その後の人生に大きく影響したことを感謝しています。振り返れば、子供たちも水泳教室、サッカーやキャンプ等の活動を通じて人としての生き方を学ぶことができたのは YMCA のユースプログラムのおかげです。時代の変化があるにしても、余島のプログラムが終了したことは断腸の思いです。ユースリーダーの活躍する場がなくなっていくのはとても残念です。幼稚園、保育園や学童保育も子供たちにとっては大切な場所ですが、もっともユースリーダーが活動できる場や子供たちへのプログラムをぜひ継続し、時代にあった若者の居場所つくりを神戸 YMCA がつくりだせないでしょうか？



令和 8 年度 「オオキンケイギク駆除大作戦」に参加しました

5 月ごろから河原や土手に咲く黄色いお花、実はこれオオキンケイギクという特定外来生物で、宝塚市内全域で繁殖しています。市では、現在、逆瀬川を重点地区として駆除活動を行っています。オオキンケイギクは繁殖力が強く、根気強く駆除しないと在来種(すみれ等)がどんどん駆逐されてしまいます！5月16日に、多胡ワイズ、若林ワイズと金岡の3名で30度を超える真夏日の中、駆除に参加、およそ30名のボランティアが協力して45リットルのゴミ袋87袋分、480キログラムのオオキンケイギクが駆除できました。



金岡幸宏

友好クラブの催事に参加

Harp & Organ : Chapel Concert

六甲連山の鮮やかな新緑が映える、2026年5月16日(土)の昼下がり、阪急岡本駅、近隣の岡本教会に於いて、大阪なかのしまクラブ主催、「Harp & Organ Chapel Concert」が開催された。

教会、三階の錚々たる礼拝堂には、背丈上の荘厳たるハープが、手前にはリードオルガンが鎮座していた。

岡本教会奏楽者、安田哲也氏による、「リードオルガン独奏」では「アニー・ロリー」より「才女」。「平和の祈り(梅ツ美子作曲)」等が披露され、「ハープ独奏」では大阪音楽大学、相愛大学の音楽部で後進の指導に当たっておられる野田千晶氏による「夕べの祈り」「聖母の御子」、我々にも馴染みの「ひき潮」、「アメイジング・グレイス」等が演奏され、しばし夢の世界へと誘われるひと時であった。

後に、「アーレンオルガン」により「カノン」の演奏、ハープとオルガンによる二重奏、「アリオソ(バッハ作曲)」等が演奏され、礼拝堂を埋め尽くした100人余りの聴衆を夢の世界と誘った！

2025年3月、ミャンマーでマグニチュード 7.7 の大規模な地震が発生。約1年が経過した今も、多くの被災者に支援が必要とされている。このコンサートのチケット売り上げ(30万円)は被災地近くのマンダレーYMCAに献金された。 福田宏子



岡山クラブ創立 60周年記念例会

5月23日にラヴィール岡山で開催された岡山クラブのチャーター60周年記念式典。

宝塚クラブから石田・長尾・多胡ワイズが参加。西日本区各クラブから約70人は岡山クラブのメンバー20人の温かい出迎えを受け記念例会は盛大に開催されました。

第一部の礼拝は長島愛生園にある光明園家族教会 延藤好英 牧師のギター奏楽で始まり、同牧師の作詞作曲の讃美歌を斉唱。そして「太陽になるな、月になれ」と題し、長島愛生園での信徒の歩みを語られた。

第二部に移り、岡山クラブの歩みが映像で映し出され、60年にわたる活動の数々が紹介された。続いて岡山ワイズの基礎を築かれた方々をメモリアルアワーがもたれ、懐かしい方々のご活躍を偲びました。基調講演は、過去20年間YMCAせとうちの総主事として活躍され、今年4月から同盟総主事として東京に移られた太田直宏ワイズと最近ワイズおよびYMCAの活動に共感されてワイズのメンバーになられたオーニック株式会社代表取締役の難波健ワイズのお二人。YMCA/ワイズの今後の取り組みなどを中心に掛け合い的なトークショーを展開され、豊かな、楽しい時を共有することができました。

第三部は懇親会。岡山クラブの次期会長率いるバンド演奏のもと楽しく、美味しく、ワイズならではの交流の時を持ち、三浦会長の点鐘で閉会となり家路に着きました。 多胡葉子



お誕生日 一言メッセージ

85才になった。先般、「余命半年宣告を受けたら？」というお話を聞き、「もしバナゲーム」で人生の最期を考えるときを持った。私は合唱を友に100歳まで生きたい派。だから終活はまだ早いよね！ 若林成幸

「朝起きて2本足で立てると、感謝。30分の散歩、ご飯も美味しく頂け、ワイズの活動の末席を汚し、日曜日は教会へ行き、拳句は猫を連れ白馬まで行く、そんな87歳の自分にカンパシー。」 青柳美知子

真菰茶を作って8年目、元気に真菰植えをし、63歳を迎えます。次のミッションも見つけて楽しい日々です。

矢部美沙

そろそろ終活をしなければと思いつつも、毎日楽しく過ごしています。気になるプチストレスは、その都度解消するように心掛けています。私に残された時間を大切に、これからも丁寧に生きていきたいと思います。 小林貴美子

神戸 YMCA 総会

日時:2026年6月27日(土)9:30~12:15

会場:神戸 YMCA 三宮会館

内容:

第一部 礼拝 塚田直文氏(神戸キリスト教青年会 常議員・ミッション委員)

第二部 議事 ※議案につきましては、総会構成員の皆さまにご案内いたします。

報告・表彰

総会終了後、交わりの機会としてお茶会を予定しています。

問合せ:神戸 YMCA 本部事務局 TEL 078-241-7201

Eメール info@kobeymca.org



みつかる。つながる。よくなっていく。

六甲部評議会

次の通り開催されます。

日時:7月11日(土)14時

場所:神戸 YMCA チャペル

内容:

- ・六甲部部則改定(案)
- ・2025/26 実績承認
- ・新旧役員交代式
- ・2026/27 方針説明
- ・その他



INTERNATIONAL

20th International Youth Convocation

IYC 26

Penang, Malaysia
7 - 13 September 2026

Register now!

Click here to see
IYC 26 Programme Highlight

Registration fee
for subsidised participants : **USD 200**

for Non-subsidised participants : **USD 600**

YMI will subsidise the remaining expenses, including all meals, programmes, and activities during IYC 26, alongside with the IC 26 experience throughout the 7-day, 6-night programme.

Join us in Penang, Malaysia, for the 20th International Youth Convocation (IYC) of Y's Men International, taking place 7-13 September 2026.

Spend seven unforgettable days and six nights in the "Pearl of the Orient", one of Southeast Asia's most stunning coastal heritage sites. This year, IYC 2026 offers a truly unique opportunity to connect with the global Y's Men International family as we host a historic joint convention alongside the 75th International Convention (IC 2026).

Come be a part of this landmark gathering as our global family unites to create history in Penang. Experience the legendary warmth of Malaysian hospitality, the richness of our shared mission, and the beauty of a city where the sun sets over the sea and the future begins with our dreams.

IYC2026 Website

@ysmenyouthofficial

tong@ysmen.org